

2021.10.08

InterRisk Thailand Flood Report <2021 No.06>

タイの洪水情報

概要

- ✓ タイの政府機関 National Water Command は、10 月 7 日～10 日にバンコク都、Nonthaburi 県、Pathumthani 県のチャオプラヤ川周辺で洪水リスクが高まるとの警告を発表しています。
- ✓ 南シナ海で発生した台風 Lionrock が 10 月 10 日～11 日にベトナム北部へ上陸する見込みです。10 月 12 日以降、タイ北部、東北部、中央部がこの台風の影響を受ける可能性があります。
- ✓ チャオプラヤ川上流域の Sirikit ダムと Bhumibol ダムの貯水率は約 50%です。いずれのダムもまだ貯水量には余裕があり、河川の流量をコントロールできる状況です。
- ✓ 一方、Pasak ダムと Kwaenoi ダムの貯水量は、運用レベルの上限にほぼ達しています。これらのダムから放出される水量が増えることで、河川の水位が上昇するおそれがあります。
- ✓ チャオプラヤ川下流域の水位は、ほぼ全ての観測地点で”Critical（警告）”に達しています。
- ✓ 10 月中旬まで、台風 Lionrock による影響およびチャオプラヤ川の水位を特に注視する必要があります。

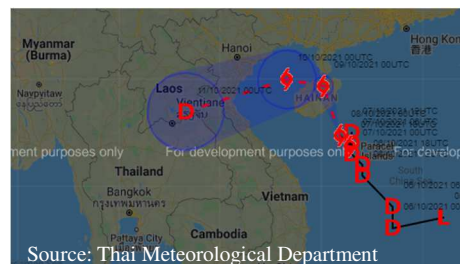
National Water Command の洪水警報

チャオプラヤダムからの放水量が増加することにより、Ayutthaya の Bangsai 地区で最大 3,050～3,150m³/秒の水が流下することから、National Water Command はバンコク都、Nonthaburi 県、Pathumthani 県に洪水警報を発令しました。チャオプラヤダムから放出された水は 10 月 7 日から 10 日にかけてタイ湾に到達しますが、同期間は海面が上昇しているため、チャオプラヤ川の水位が 30～50cm 高くなる可能性があります。洪水リスクが高まる地域は、バンコク都、Nonthaburi 県、Pathumthani 県の堤防が設置されていない、または堤防外のチャオプラヤ川沿いの低地です。



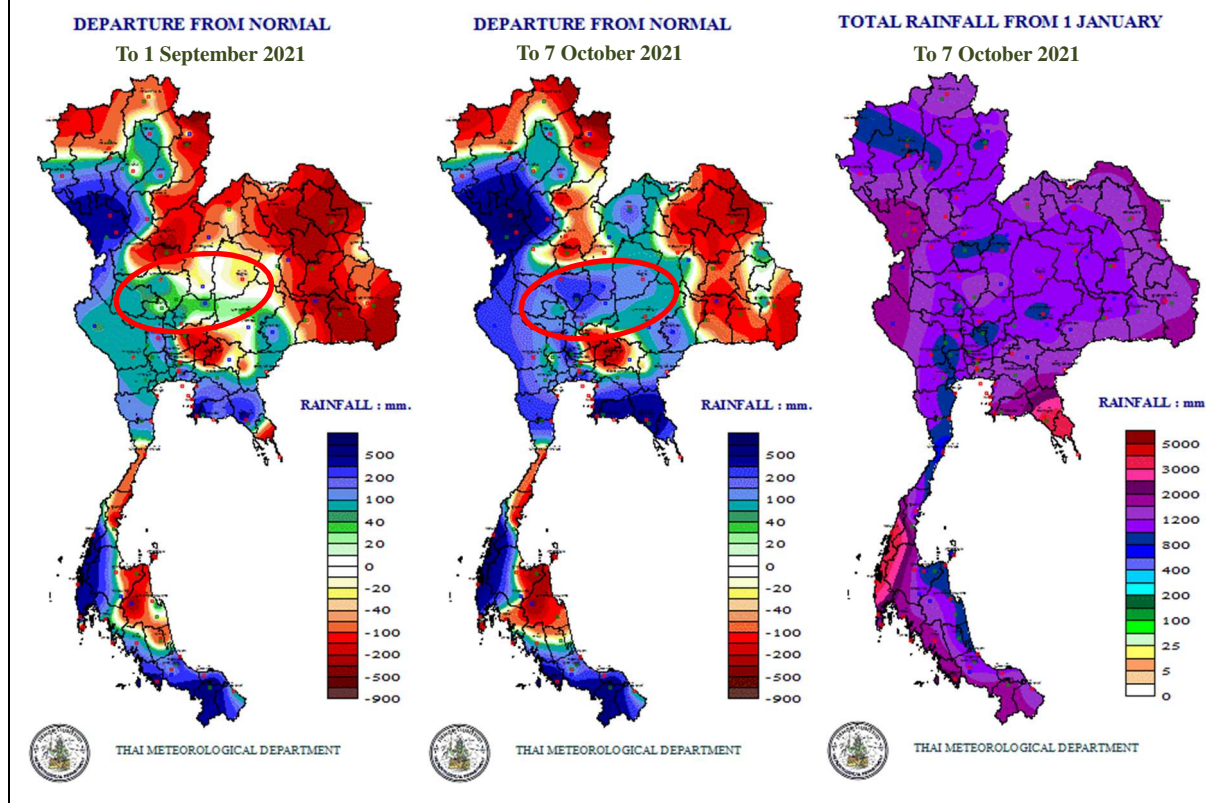
今後の天気

タイ気象局の発表によると、南シナ海中部で発生した台風 Lionrock が 10 月 10 日から 11 日にかけて勢力を強め、ベトナム北部に上陸する見込みです。10 月 12 日以降、タイ北部、東北部、中央部がこの台風の影響を受ける可能性があります。



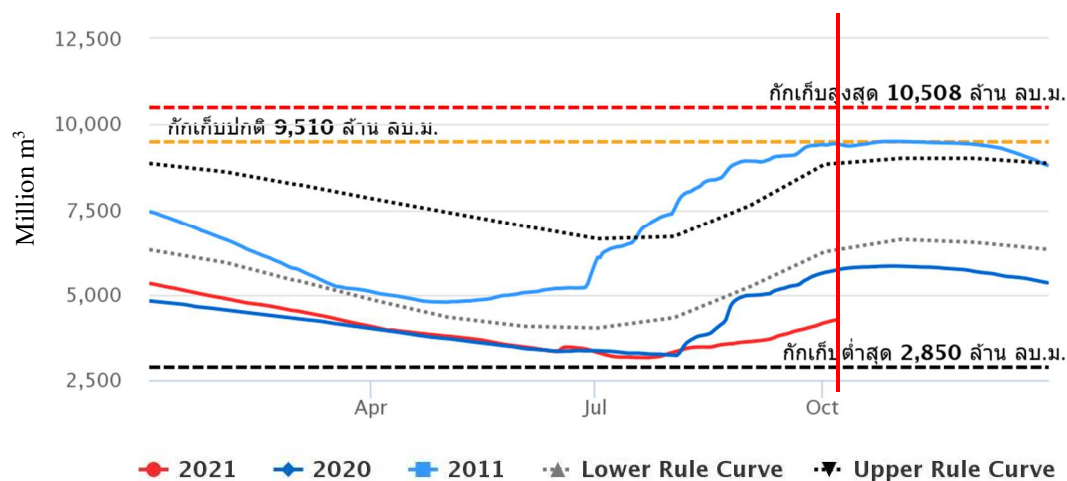
降雨量

- ✓ 下図はそれぞれ、(左) 2021 年 1 月 1 日～9 月 1 日における累積降雨量の平年（直近 30 年の平均降雨量）との差、(中央) 2021 年 1 月 1 日～10 月 7 日における累積降雨量の平年との差、(右) 2021 年 1 月 1 日～10 月 7 日における累積降雨量を示しています。
- ✓ 左図と中央の図を比較すると、タイ東部の西側（Chaiyaphum 県、Nakhon Ratchasima 県）、タイ北部の南端（Nakhon Sawan 県、Uthai Thani 県）、タイ中央部の北端（Lopburi 県、Singburi 県、Chainat 県など）で、9 月から 10 月初旬にかけて大雨が降り、1 月 1 日からの累積降雨量が平年を大きく上回ったことが分かります（下図の赤い丸で囲われたエリア）。
- ✓ タイ東部の Rayong 県、Chanthaburi 県では、1 月 1 日からの累積降雨量が平年を 500mm 程度上回っています。

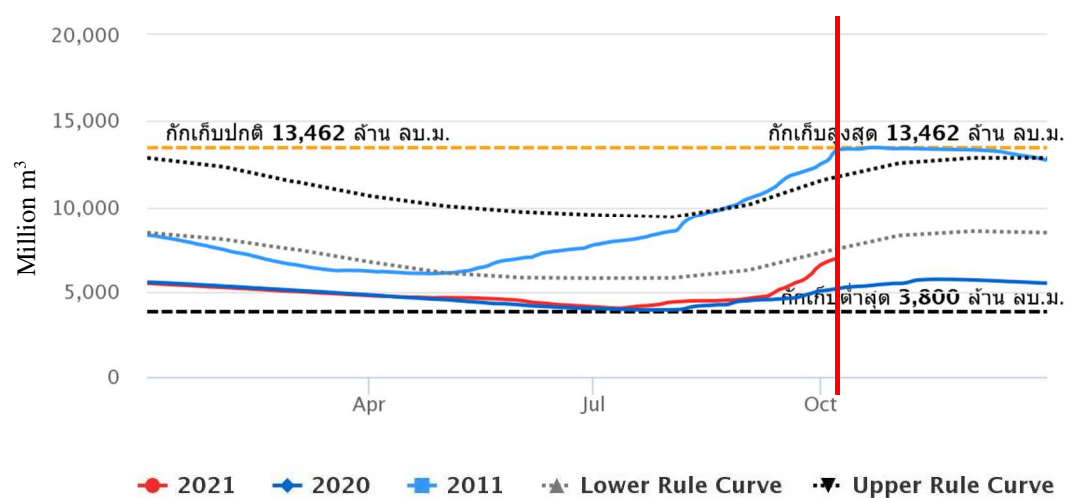


ダム貯水量（Sirikit ダム、Bhumibol ダム）

貯水量：Sirikit ダム（貯水率 45%：2021 年 10 月 7 日時点）



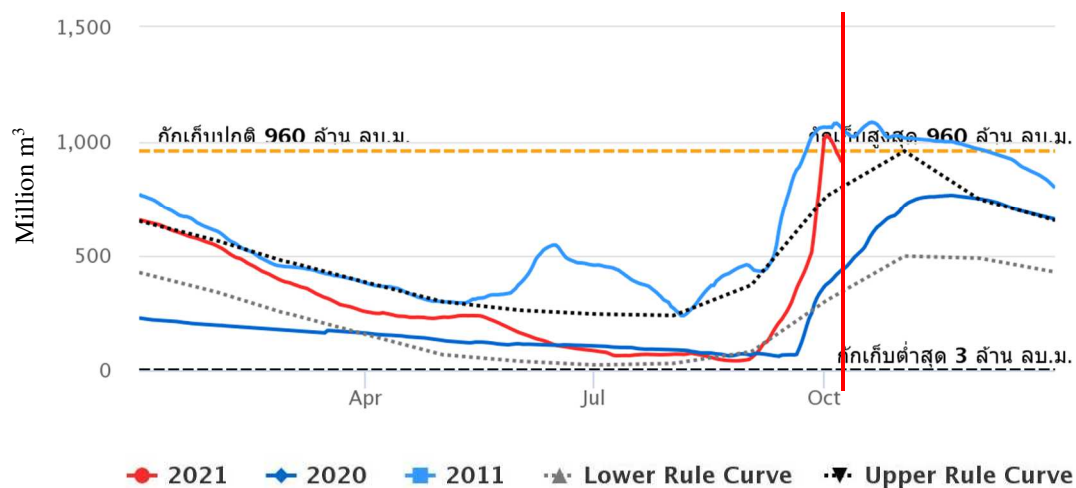
貯水量：Bhumibol ダム（貯水率 51%：2021 年 10 月 7 日時点）



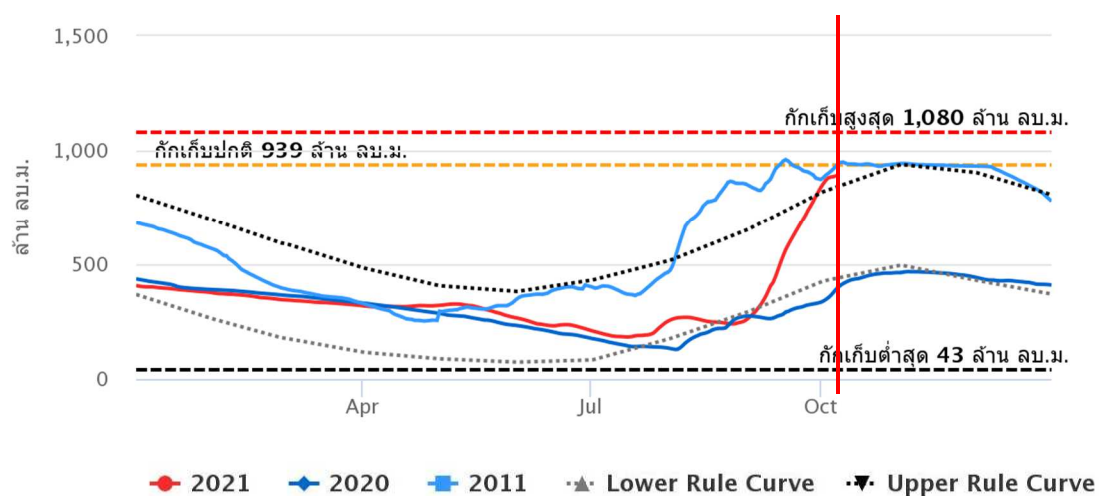
9 月 26 日以降、Sirikit ダムの貯水量は 2%、Bhumibol ダムの貯水量は 6%増加しています。大洪水が発生した 2011 年と今年の 10 月 7 日時点の貯水量を比較すると、Sirikit ダムは、2011 年：9,409m³ ⇔ 2021 年：4,268m³ (45%)、Bhumibol Dam は、2011 年：13,307m³ ⇔ 2021 年：6,929m³ (52%) です。いずれのダムもまだ貯水量には余裕があり、タイ北部で大雨が発生しても、河川の流量をコントロールできる状況です。

ダム貯水量 (Pasak ダム、Kwaenoi ダム)

貯水量：Pasak ダム（貯水率 95%：2021 年 10 月 7 日時点）



貯水量：Kwaenoi ダム（貯水率 95%：2021 年 10 月 7 日時点）



Pasak ダムと Kwaenoi ダムの貯水量は、運用レベルの上限にほぼ達しています。これらのダムは 2011 年 9 月中旬にもこのレベルに達していました。今後はダムの貯水量を減らすためにダムからの放水量が増え、河川の水位が上昇することが予想されます。

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流：2021年10月7日時点）

チャオプラヤ川上流域の水位は、9月27日以降もわずかに上昇しています。Yom川、Nan川、および4つの川の合流地点の水位は、引き続き”Critical（警告）”レベルに達しています。

Water Situation in the Chao Phraya River
7th October 2021



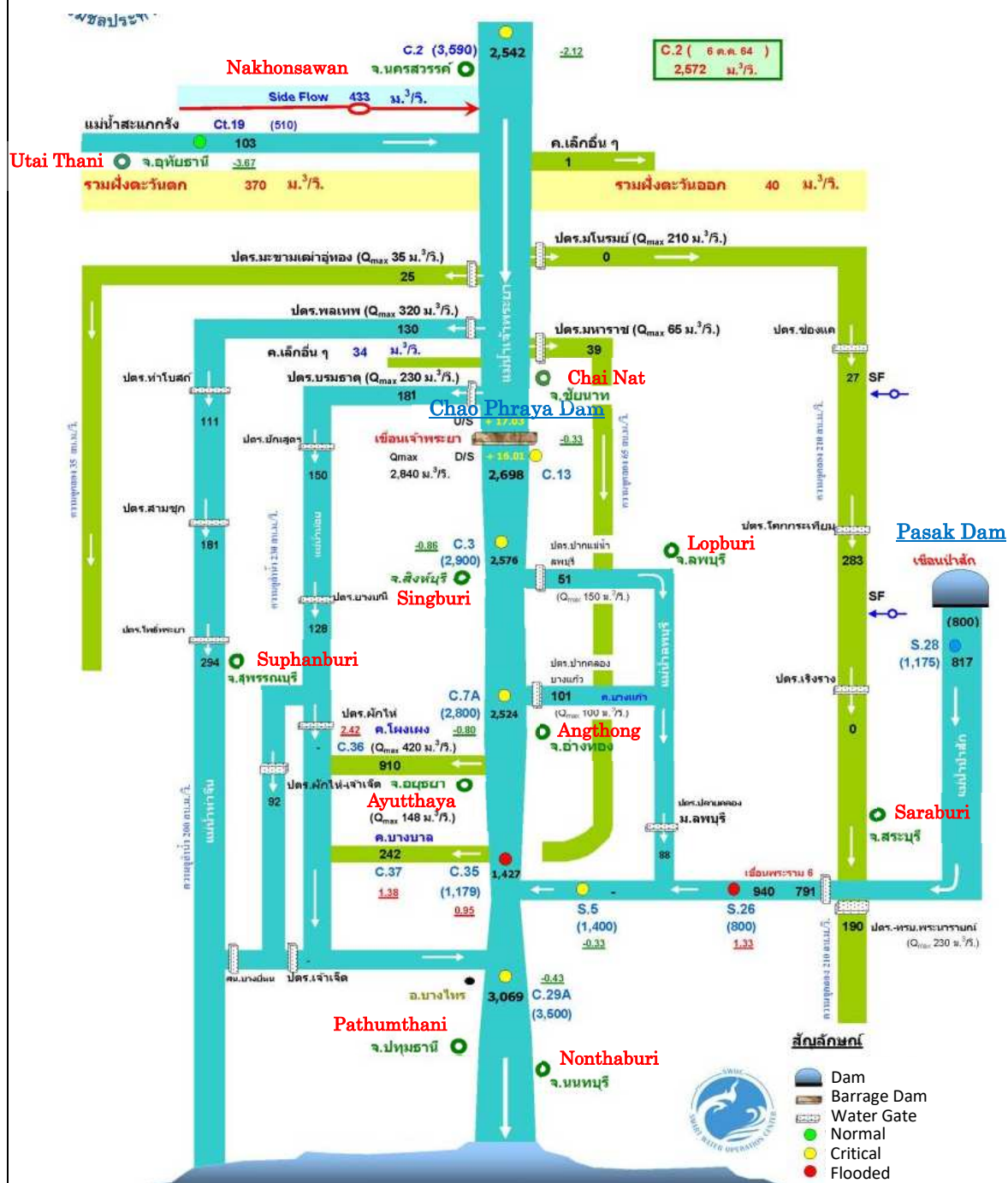
【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流：2021 年 10 月 7 日時点）

チャオプラヤ川下流域の水位も 9 月 27 日から上昇しています。ほぼ全ての観測地点で水位が”Critical（警告）”に達しており、Ayutthaya、Saraburi で河川氾濫が発生しています。

Water Situation in the Chao Phraya River
7th October 2021



【備考】

- ① 河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（ m^3/sec ）
- ② 上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③ 上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④ 緑文字・-（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）

参照

<https://www.prachachat.net/economy/news-775218>

https://www.tmd.go.th/list_warning.php

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/yearRain.php>

<http://www.thaiwater.net/water/dam/large>

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_up.php?cal2=01092021

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=01092021

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研（株） 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<https://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower. South Sathorn Road.Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120. Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2021